

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【四半期会計期間】	第55期第2四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
【会社名】	パウダーテック株式会社
【英訳名】	Powdertech Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 祐二
【本店の所在の場所】	千葉県柏市十余二217番地
【電話番号】	04-7145-5751(代)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 倉持 正一
【最寄りの連絡場所】	千葉県柏市十余二217番地
【電話番号】	04-7145-5751(代)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 倉持 正一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第2四半期連結 累計期間	第55期 第2四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (千円)	5,439,440	3,391,831	10,661,263
経常利益又は 経常損失() (千円)	839,442	52,918	1,580,054
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属す る四半期純損失() (千円)	546,080	55,007	1,094,550
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	545,201	53,718	1,094,433
純資産額 (千円)	11,501,006	11,714,352	12,049,698
総資産額 (千円)	14,325,765	13,494,667	15,259,957
1株当たり四半期(当 期)純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金 額() (円)	184.27	18.56	369.36
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	80.3	86.8	79.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	802,165	240,617	1,785,568
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	679,426	820,657	899,856
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	332,918	282,410	383,880
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,058,593	2,908,817	3,772,075

回次	第54期 第2四半期連結 会計期間	第55期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利 益金額又は1株当たり 四半期純損失金額 () (円)	96.29	34.76

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、「キャリア事業」としていた報告セグメントの名称を、電子写真用キャリア以外の新規市場向け新製品が立ち上がったことなどから、より適切に事業内容を表すよう「機能性材料事業」に変更いたしました。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の内容に重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各国が実施した渡航禁止や都市封鎖などにより経済活動が大きく停滞しました。その後、経済活動の再開が徐々に進みましたが、回復は緩やかなペースとなっています。米国では都市封鎖解除後に雇用が回復し個人消費は持ち直しましたが、欧州では感染の再拡大を受けて回復の勢いが鈍化しました。中国においては内需や輸出を中心に経済の回復が持続しました。日本国内では緊急事態宣言解除後は個人消費は持ち直しましたが、企業部門では業績の悪化が見られました。

このような状況の中、新型コロナ禍による移動制限や在宅勤務の増加でオフィスの利用が減少したことにより、複合機や商業用印刷機などの稼働が落ち込み、当社の主力製品であるキャリアの需要は大幅に減少いたしました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤市場は、観光やインパウンド需要の減少、百貨店等の休業などにより大幅に悪化いたしました。鉄粉につきましては、主要用途であるカイロ用が2年連続の暖冬の影響で前年同期を下回る需要となりました。

これらの市場環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比37.6%減少の3,391百万円となりました。

損益面では、販売減の影響が大きく、営業損失48百万円（前年同期は営業利益843百万円）、経常損失52百万円（前年同期は経常利益839百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失55百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益546百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「キャリア事業」としていた報告セグメントの名称を、電子写真用キャリア以外の新規市場向け新製品が立ち上がったことなどから、より適切に事業内容を表すよう「機能性材料事業」に変更いたしました。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント業績に与える影響はありません。

機能性材料事業

当セグメントにおきましては、電子写真用キャリアの大幅な需要減により、売上高は2,701百万円（前年同期比37.9%減）となりました。セグメント利益は、売上高の減少により165百万円（前年同期比83.9%減）となりました。

鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品、鉄粉関連製品とも需要が減少し、売上高は690百万円（前年同期比36.4%減）となりました。セグメント利益は、減販損が影響し18百万円の損失となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）と預け金の減少により、1,690百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産の減価償却発生金額が設備投資金額を上回ったことなどにより、74百万円減少いたしました。以上により、総資産は1,765百万円減少し13,494百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払金、未払法人税等の減少により、1,429百万円減少し1,780百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い1281百万円、四半期純損失55百万円により、335百万円減少し11,714百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ7.8%増加し86.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	802百万円	240百万円	561百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	679百万円	820百万円	141百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	332百万円	282百万円	50百万円
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,058百万円	2,908百万円	149百万円

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ現金収入が561百万円減少し、240百万円の収入となりました。主に税金等調整前四半期純利益が減少したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ現金支出が141百万円増加し、820百万円の支出となりました。キャリア製造設備等の有形固定資産の取得による支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ現金支出が50百万円減少し、282百万円の支出となりました。前年度において長期借入金の返済が完済したことによります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前第2四半期連結累計期間末に比べ149百万円減少し2,908百万円となりました。

(4) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について変更を行っております。財務諸表の作成に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大により、一定の売上高減少の影響が当事業年度の第1四半期まで継続するものの、第2四半期以降は徐々に回復するとの仮定も考慮して見積り及び予測を行っていましたが、第2四半期もオフィスにおける複合機や商業用印刷機などの稼働は鈍く在庫調整などもありキャリアの需要は回復しませんでした。

第3四半期以降は新型コロナウイルスの収束時期は見通せないものの、経済活動は徐々に再開しており、各国・地域の景気対策や財政政策の効果もあり、景気は緩やかに回復するものと見ております。下期のキャリア需要は第2四半期までの在庫調整局面を経て第3四半期以降は緩やかに回復するものの、従来の需要近くに帰るのは来期以降になると見込んで見積り及び予測を変更しました。ただし、現時点での全ての影響について合理的に見積り及び予測を行うことは困難であり、また、収束時期等によっても変動する可能性があります。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は244,733千円であります。なお、研究開発活動の状況について重要な変更はありません。

(7) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は、現在の事業環境および入手可能な情報に基づき、最善の経営方針を立案するよう努めております。事業環境の変化に対応すべく経営戦略を明確にし、掲げた課題と施策を確実に実行してまいります。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,200,000
計	7,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,970,000	2,970,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	2,970,000	2,970,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月30日		2,970,000		1,557,000		1,566,000

(5) 【大株主の状況】

2020年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社南悠商社	東京都港区虎ノ門4丁目1-35	1,094,720	36.94
三井金属鉱業株式会社	東京都品川区大崎1丁目11番1号	1,026,300	34.63
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2丁目5番5号	132,000	4.45
パウダーテック従業員持株会	千葉県柏市十余二217番地	86,036	2.90
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	81,800	2.76
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1丁目4-10	59,500	2.01
株式会社千葉興業銀行	千葉県千葉市美浜区幸町2丁目1-2	33,000	1.11
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	7 OLD PARK LANE, LONDON, W1K 1QR (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	22,700	0.77
中丸 俊介	千葉県船橋市	12,000	0.40
丸太 卓	千葉県千葉市中央区	10,000	0.34
計		2,558,056	86.33

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,700		単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,957,500	29,575	同上
単元未満株式	普通株式 5,800		
発行済株式総数	2,970,000		
総株主の議決権		29,575	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式80株が含まれております。

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) パウダーテック株式会社	千葉県柏市十余二217番地	6,700		6,700	0.23
計		6,700		6,700	0.23

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	327,016	276,117
受取手形及び売掛金	1 1,162,879	1 823,741
電子記録債権	789,354	341,467
商品及び製品	1,263,242	1,126,981
仕掛品	994,603	1,098,379
原材料及び貯蔵品	477,548	416,621
預け金	3,445,059	2,632,700
その他	38,885	91,396
貸倒引当金	1,073	768
流動資産合計	8,497,514	6,806,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2 5,030,832	2 5,337,668
減価償却累計額	2,977,732	3,028,892
建物及び構築物(純額)	2,053,100	2,308,775
機械装置及び運搬具	2 10,634,335	2 10,674,619
減価償却累計額	8,783,765	9,089,143
機械装置及び運搬具(純額)	1,850,569	1,585,476
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	27,250	27,250
減価償却累計額	22,589	23,383
リース資産(純額)	4,661	3,866
建設仮勘定	539,599	468,424
その他	637,935	642,849
減価償却累計額	539,840	560,147
その他(純額)	98,095	82,702
有形固定資産合計	6,406,224	6,309,444
無形固定資産		
その他	38,005	34,209
無形固定資産合計	38,005	34,209
投資その他の資産		
投資有価証券	13,594	13,839
繰延税金資産	277,344	303,564
その他	32,706	28,006
貸倒引当金	5,432	1,032
投資その他の資産合計	318,212	344,377
固定資産合計	6,762,442	6,688,031
資産合計	15,259,957	13,494,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	919,837	495,739
リース債務	1,405	1,228
未払金	1,077,345	407,752
未払法人税等	263,492	17,681
未払事業所税	21,044	10,522
未払消費税等	73,482	42,967
賞与引当金	228,010	215,919
その他	153,400	117,893
流動負債合計	2,738,018	1,309,704
固定負債		
リース債務	3,066	2,460
長期未払金	10,257	10,257
退職給付に係る負債	457,916	456,892
その他	1,000	1,000
固定負債合計	472,240	470,610
負債合計	3,210,258	1,780,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	8,940,772	8,604,255
自己株式	11,807	11,925
株主資本合計	12,051,964	11,715,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	673	503
為替換算調整勘定	1,592	472
その他の包括利益累計額合計	2,265	976
純資産合計	12,049,698	11,714,352
負債純資産合計	15,259,957	13,494,667

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,439,440	3,391,831
売上原価	3,752,012	2,733,816
売上総利益	1,687,428	658,015
販売費及び一般管理費	1 844,099	1 706,848
営業利益又は営業損失()	843,329	48,832
営業外収益		
受取利息	6,755	5,781
その他	5,513	2,956
営業外収益合計	12,268	8,738
営業外費用		
支払利息	301	139
為替差損	6,292	5,715
債権売却損	8,968	6,096
その他	593	873
営業外費用合計	16,156	12,824
経常利益又は経常損失()	839,442	52,918
特別損失		
固定資産処分損	42,838	25,777
特別損失合計	42,838	25,777
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	796,603	78,696
法人税等	250,522	23,688
四半期純利益又は四半期純損失()	546,080	55,007
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	546,080	55,007

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	546,080	55,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179	169
為替換算調整勘定	698	1,119
その他の包括利益合計	878	1,289
四半期包括利益	545,201	53,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545,201	53,718

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	796,603	78,696
減価償却費	466,905	397,806
貸倒引当金の増減額(は減少)	29	4,705
賞与引当金の増減額(は減少)	29,346	12,091
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	7,163	1,023
受取利息及び受取配当金	6,838	5,865
支払利息	301	139
為替差損益(は益)	1,707	542
固定資産処分損益(は益)	42,838	25,777
売上債権の増減額(は増加)	27,759	786,212
たな卸資産の増減額(は増加)	252,038	92,165
仕入債務の増減額(は減少)	5,978	420,675
未払金の増減額(は減少)	52,970	193,397
未払消費税等の増減額(は減少)	11,711	30,515
その他	57,856	84,685
小計	927,311	470,988
利息及び配当金の受取額	6,838	5,865
利息の支払額	301	139
法人税等の支払額	131,684	236,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	802,165	240,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	669,577	818,891
有形固定資産の除却による支出	9,849	1,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	679,426	820,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	1,337	782
長期借入金の返済による支出	50,000	-
自己株式の取得による支出	55	118
配当金の支払額	281,525	281,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	332,918	282,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,170	807
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	212,350	863,257
現金及び現金同等物の期首残高	3,270,944	3,772,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,058,593	1 2,908,817

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
1	税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
債権流動化に伴う買戻義務	10,089千円	9,138千円

2 圧縮記帳額

国庫補助金等により有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額及びその内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
建物及び構築物	6,947千円	6,947千円
機械装置及び運搬具	432,552	432,552
計	439,499千円	439,499千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	千円	千円
販売費		
賞与引当金繰入額	18,678	20,607
退職給付費用	3,305	2,769
一般管理費		
役員報酬及び給料・手当	171,907	166,171
賞与引当金繰入額	76,202	39,904
退職給付費用	12,985	4,298
研究開発費	174,002	156,906

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
現金及び預金	316,211千円	276,117千円
預け金	2,742,381	2,632,700
現金及び現金同等物	3,058,593千円	2,908,817千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	281,525	95.00	2019年3月31日	2019年6月28日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	281,509	95.00	2020年3月31日	2020年6月29日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	4,352,983	1,086,457	5,439,440		5,439,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,352,983	1,086,457	5,439,440		5,439,440
セグメント利益	1,033,800	62,533	1,096,333	253,004	843,329

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 253,004千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 253,688千円及び棚卸資産の調整額684千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	2,701,277	690,554	3,391,831		3,391,831
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,701,277	690,554	3,391,831		3,391,831
セグメント利益又は損失()	165,989	18,333	147,656	196,489	48,832

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額 196,489千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 196,698千円及び棚卸資産の調整額209千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、「キャリア事業」としていた報告セグメントの名称を、電子写真用キャリア以外の新規市場向け新製品が立ち上がったことなどから、より適切に事業内容を表すよう「機能性材料事業」に変更いたしました。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントについても変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額 ()	184円27銭	18円56銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株式に帰属する四半期純損失金額 () (千円)	546,080	55,007
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額又は普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純損失金額 () (千円)	546,080	55,007
普通株式の期中平均株式数(株)	2,963,420	2,963,249

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月13日

パウダーテック株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 島 祥 朗 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 原 諭 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているパウダーテック株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、パウダーテック株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。